

医療情報部

著書

- 1 穂屋下茂監修：就業力を育むデジタル表現技術者養成プログラム。創造的表現力を重視したアクティブラーニングの実践，4.2.2web表現，4.2.3プログラミング表現，52-63。五紘舎。東京 ISBN978-4-86434-057-1。
- 2 清水周次・中島直樹監修：遠隔医療カンファレンス。技術担当者になったら読む本 入門編，第1章 事前準備，10-18。一般社団法人国立大学附属病院長会議事務局，東京。
- 3 永松美雪企画監修，原 健一，矢野潔子，高崎光浩，大田和樹，石橋亜弓，河見美里，長池千和，中島美咲，山口沙南，山崎郷花：あなたとわたしの「からだいのちこころ」を守るeラーニング。<http://nodv.med.saga-u.ac.jp/relation/>（科学研究費助成事業）佐賀大学医学部看護学科母子看護学講座・佐賀大学総合情報基盤センター 2015。
- 4 永松美雪企画監修，原 健一，矢野潔子，高崎光浩，大田和樹，島崎 梓，石橋亜弓，河見美里，長池千和，中島美咲，山口沙南，山崎郷花：あなたとわたしの「からだいのちこころ」を守るeラーニング。<http://nodv.med.saga-u.ac.jp/relation/>（科学研究費助成事業）日本赤十字九州国際看護大学成育看護学・佐賀大学医学部附属病院医療情報部 2016。

原著論文

- 1 Fujii S, Hara M, Nonaka S, Ishikawa S, Aoki Y, Anzai K, Morita S, Fujimoto K, Mawatari M: Infectious disease during hospitalization is the major causative factor for prolonged hospitalization: multivariate analysis of diagnosis procedure combination (DPC) data of 20,876 cases in Japan. 日本酸化ストレス学会 Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition July 2016, Vol.59: no.1, 49-52, 2016.
- 2 Oeda S, Iwane S, Takasaki M, Furukawa N, Otsuka T, Eguchi Y, Anzai K: Optimal Follow-up of Patients with Viral Hepatitis Improves the Detection of Early-stage Hepatocellular Carcinoma and the prognosis of Survival. Internal Medicine. 55: 2749-2758, 2016.

総説

- 1 藤井 進，野中小百合，独立行政法人医薬品医療機器総合機構：宇山佳明，山田香織，安藤 孝：平成27年度 医療情報データベースに保存された医療情報の実践的な利活用のためのデータ検証（バリデーション）スクリプトの検討。2016， 3。
- 2 藤井 進，野中小百合，南雲文夫，大平直由己，吉岡邦康，独立行政法人医薬品医療機器総合機構：宇山佳明，山口光峰，高橋史峰，渡邊健一，保坂悠紀子，原田紗世子，氏部真優子，山田香織，川口麻衣子，駒嶺真希，猪俣聡美，松崎 優，的場文平，北原祐徳，柿原 研，野口 敦，田中あゆみ，竹内由則，熊野愛子，伊藤真和吏，安藤 孝：平成27年度 医療情報DBに保存された医療情報の実践的な利活用のためのデータ検証（バリデーション）医療情報データベースシステム（統合データソース）の品質管理に係るバリデーション。2016， 3。

学会発表

国際規模の学会

- 1 °Yamada K, Sakamoto Y, Fujii S: Impact of diabetes mellitus on hospitalization charges of patient with sepsis: a single-center retrospective study in Japan. 41st ANZICS/ACCCN ASM Annual Scientific Meeting 2016. 2016, 10, 20-22. 41st ANZICS/ACCCN ASM Annual Scientific Meeting 2016 y

国内全国規模の学会

- 1 藤井 進, 宇宿功市郎, 三宅秀敏, 荒木賢二, 宇都由美子, 中島直樹, 本多正幸, 安西慶造: SS-MIX 2 をベースにした統合解析を可能とする多施設医療情報共有化基盤の構築と利活用に向けた課題～九州地区の七国立大学病院による震災時医療資源需要予測協議会での取り組み～. 平成27年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議. 2016, 1, 27-29. 平成27年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議プログラム抄録集 62-64頁.
- 2 藤井 進: 医療情報システムで変わる大規模な地域医療情報データベース基盤とその利用. 一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会 (JAHIS) 主催勉強会. 2016, 3, 29.
- 3 藤井 進, 野中小百合, 南雲文夫, 堀田多恵子, 末岡榮三朗, 中島直樹, 康 東天: 統合解析可能な大規模医療情報データベース構築と維持における, JLAC10自動マッピングツールの作成と性能評価. 第36回医療情報学連合大会 (第17回日本医療情報学会学術大会). 2016, 11, 21-24. 第36回医療情報学連合大会 プログラム・抄録集 228頁, 詳細抄録集 512-515頁.
- 4 南雲文夫, 藤井 進, 野中小百合, 堀田多恵子, 中島直樹, 末岡榮三朗, 康 東天: 容易・正確・効率的な JLAC10マッピングツールとして体外診断用医薬品承認番号利用の有効性. 第36回医療情報学連合大会 (第17回日本医療情報学会学術大会). 2016, 11, 21-24. 第36回医療情報学連合大会 プログラム・抄録集 318頁, 詳細抄録集 970-973頁.
- 5 野中小百合, 川人 学, 山田クリス孝介, 藤井 進, 福島常浩, 末岡榮三朗, 宮崎耕治: 自己疾病管理を目的とした PHR カードの発行とサービスの開始と評価—佐賀 MIRCA—. 第36回医療情報学連合大会 (第17回日本医療情報学会学術大会). 2016, 11, 21-24. 第36回医療情報学連合大会 プログラム・抄録集 261頁, 詳細抄録集 682-685頁.
- 6 藤井 進, 野中小百合, 南雲文夫, 堀田多恵子, 末岡榮三朗, 中島直樹, 康 東天: パターン ID と患者 ID から生成する統合 ID (自動名寄技術) の個人を特定する能力評価と, それを用いた施設間の連結がもたらす大規模医療情報データベースにおける経時性や網羅性に対する有用性の評価. 第36回医療情報学連合大会 (第17回日本医療情報学会学術大会). 2016, 11, 21-24. 第36回医療情報学連合大会 プログラム・抄録集 346頁, 詳細抄録集 1122-1125頁.
- 7 野中小百合, 藤井 進, 末岡榮三朗, 藤本一真: DPC データを用いた医療の質に関する研究～誤嚥性肺炎について～. 第17回日本クリニカルパス学会学術集会. 2016, 11, 25-26. 第17回日本クリニカルパス学会学術集会抄録集 504頁.
- 8 大田和樹, 高崎光浩, 大月美佳, 掛下哲郎: DevOps ツールを活用したソフトウェア開発技術者教育支援システムの構想. 第135回情報処理学会. 抄録集 pp. 1 - 8. 2016, 3, 7. 東京.
- 9 楠田詞也, 佐々木和美, 高崎光浩, 中尾佳史, 横山正俊: 佐賀県における子宮がん死亡率高値の原因分析. 地域がん登録全国協議会第25回学術集会. 2016, 6, 3. 石川.
- 10 大月美佳, 大田和樹, 高崎光浩, 掛下哲郎: ソフトウェア開発技術者教育支援システム ALECSS のためのプログラム点検用スクリプトの実装と評価. Summer Symposium inShin-Hakodate-Hokuto 2016. 講演要旨集 pp. 1 - 8. 2016, 8, 22. 北海道.
- 11 原 健一, 永松美雪, 矢野潔子, 高崎光浩, 大田和樹, 島崎 梓: 中学生向け暴力防止教育プログラムの評価 (報告1) - 講演による DV 予防教育の効果 -. 第35回日本思春期学会総会・学術集会. 2016, 8, 27. 東京.

- 12 永松美雪, 原 健一, 矢野潔子, 高崎光浩, 大田和樹, 島崎 梓: 中学生向け暴力防止教育プログラムの評価 (報告2) - e-learning による DV/性暴力予防教育の効果 -. 第35回日本思春期学会 総会・学術集会. 2016, 8, 27. 東京.
- 13 大田和樹, 高崎光浩, 大月美佳, 掛下哲郎: ソフトウェア開発技術者教育支援システム ALECSS を用いたプログラムの自動点検機能の評価. 情報処理学会九州支部若手の会セミナー2016. 講演要旨集 pp. 1-8. 2016, 9, 12. 長崎.

地方規模の学会

- 1 ○山田クリス孝介, 藤井 進: 佐賀 MIRCA サービス. 佐賀救急医学会. 2016, 9, 3. 第39回佐賀救急医学会 プログラム・抄録集 22頁.

その他の学会

- 1 藤井 進: 医療の質と経営の質の両立. 医療経営セミナー 沖縄県 アトル. 2016, 2, 25.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
講師	藤井 進	医薬品医療機器総合機構	医療情報データベース基盤整備事業	28年度医療情報データベースに保存された医療情報の実践的な利活用のためのデータ検証(バリデーション)業務	14,172
講師	藤井 進	日本医療研究開発機構	医薬品等規制調和・評価研究事業	拠点病院における地域医療情報との連携に向けた課題の整理と実効性の検証・運用維持に関する研究-地域医療情報の現状と課題, ならびに標準化作業におけるコスト評価-	33,210
講師	藤井 進	共同研究	(分担)	診療情報の利用に関する研究	6,105
講師	藤井 進	日本医療研究開発機構	臨床研究等 ICT 基盤構築研究事業	臨床および臨床研究の充実のための本人に関する多種多様な情報のデジタル化・ネットワーク化及び統合的な利活用を可能とする基盤技術に関する研究(2)	19,000
講師	藤井 進	日本医療研究開発機構	医薬品等規制調和・評価研究事業 (分担)	医薬品等の安全対策のための医療情報データベースの利用拡大に向けた基盤整備に関する研究	5,000
講師	藤井 進	日本医療研究開発機構	臨床研究等 ICT 基盤構築研究事業	佐賀大学病院並びに佐賀県地域の医療情報を利活用基盤への接続に関する研究	3,300